

一・二学年研修旅行

九月三十日から十月二日までの三日間、進路に関わる研修旅行へ行ってきました。東京方面ということで様々な企業があるわけですが、企業見学させていただいたのは「花王」と「オリエンタルランド」。「花王」では我々



大学見学と企業見学 視野を広げ、一回り大きく

九月三十日から十月二日までの三日間、進路に関わる研修旅行へ行ってきました。東京方面ということで様々な企業があるわけですが、企業見学させていただいたのは「花王」と「オリエンタルランド」。「花王」では我々

使用し、研修という形でデザインーの“おもてなし”のための行動基準やコミュニケーションのためのポイントなどを学びました。当り前の礼儀作法を「どのような礼儀作法か」といったところが鍵だったと思われま

十月十三日に、三年環境選択者二十名は、小谷村中土の炭焼き窯を訪れ、「炭焼きと伝統工芸」というテーマで学習をしました。炭焼き職人の山本弥さんは、この窯で昨年からアカマツ炭を制作し、県内の刀工に炭の提供を始めました。しかし

森の資源活用を学ぶ 伝統工芸を支える炭焼き



十一月に神城断層地震が発生し、使用できなくなってしまう可能性が。その後刀工の皆さんの支援もあって、この夏に窯の再建が実現したとのことです。炭焼きと刀剣がどのように結びつくのか不思議に思う生徒も少なくありませんでした。解を深めました。

白馬デジタルアーカイブ講座 歴史的資料のデジタル化 統合・公開の作業を体験



白馬デジタルアーカイブの皆さんを講師にお招きし、白馬の歴史的资料をデジタル化し保存、そしてインターネット上で誰もが閲覧できるように公開する、という作業とその意義について学ばせていただきました。講座は、一年生を対象に、

十二月の三者懇談会中の二日間に行われたい計四時間で行われました。今回は、ネット環境に制限があったので、インターネット上にアップする作業は見せていただくだけになりましたが、生徒達は、身近でありながら実はよく知らなかった地元の

歴史について、貴重な歴史的資料を使いながら興味深く調査を進め内容を整理し、今年導入されたタブレットとパワーポイントを巧みに使いこなして資料をまとめていました。最後に、自分の調査結果と、それを元に今後の白馬の観光促進にどう役立てることができ

自分から社会の課題を見つけ、時代に則した方法で、効率よく効果的に、地域・社会貢献できるような人間を育てるという観点で、大変意義のある講座でした。貴重な体験をさせていただきました。白馬デジタルアーカイブスの皆様ありがとうございます。

今シーズンはウィンタースポーツの最盛期を迎えても、どのスキー場も雪不足が深刻でした。本校恒例のスキー・スノーボード教室も開催が危ぶまれていましたが、直前の降雪で一月十九日から二十一日の三日間の日程で白馬岩岳スキーフィールドを会場に実施する

スキー・スノーボード教室 白馬岩岳スノーフィールドで開催



ことができました。一日目は湿雪が降り続き、二日目もゴンドラがストップという状況でしたが、三日目は天候も回復し、冬の厳しさをと感じつつも、ウィンタースポーツの楽しさ実感することができました。地元の高校ということで様々な配慮や支援をいただき、無事終了することができました。

